

大阪市立大学医学部附属病院 見学会報告

日時：2013年1月31日（木）16:00～17:30

参加者：西村、辻、渡邊、中村、山本、「ぎんなん」から3名 計8名

受け入れ案内担当者：寺田智彦・庶務担当係長

内容：

1. 緩和ケアチーム・外来緩和ケアについて（事業内容、相談体制等）

（大阪市立大学大学院講師 中尾吉孝・医学博士）

緩和ケアは、医療者・患者・家族など現場からの要請と国からの指導により、平成19年に緩和ケアチームを結成した。担当の医師、看護師、薬剤師などにはそれぞれの所属部署があり、特別に緩和ケアの部署を用意しているわけではない。ソフト面でもハード面でも供給が追いついていない。緩和ケア専用のベッドはない。入院している患者さんに対し、主たる科の医師・看護師の依頼があつて、チームが動くというサブの状況にある。入院患者さんに対して緩和ケアチームが必要とされるのは年100ケースほど。

緩和ケア外来は、システムはあるが専用の診察室は確保できていない。患者さんがかかっている科からの依頼に基づく。ルートとしては主治医、看護師、相談支援センターからの要請などがある。

実際、緩和ケアを専門に行うには、場所、マンパワーの問題がある。

2. 相談支援センター（事業内容、相談体制等）

（山口澄江看護師、井内郁代・看護部副部長、相談総合支援センター副センター長）

相談は、面談、電話、メール、ファックスで行う。最近は面談が多い。一人20分～2時間。時間の許す限り2人で対応している。在宅医療に関する相談が増えてきている。社会的資源をどう使うかなどアドバイスをし、各専門職につなぐ。平均月80人～90人の相談を受ける。患者さんが話しやすいようにスペースを提供するよう配慮している。緩和ケアの役割も果たしている。外来化学療法センターの改築のうちに模様替えを計画している。

リンパ浮腫の対応は、資格を持っている看護師はいるが、外来としてはやっていないので、外来のある他の病院やドレナージの資格を持っている、鍼灸・マッサージの診療所を紹介している。

3. 外来化学療法について

(中野妙子・がん化学療法看護認定看護師)

平成18年に化学療法センターを開設。部屋にリクライニングチェアが11脚。ベッドはない。部屋が狭い印象。利用者は平均1日23~24人。月440人~450人。治療時間は15分~7時間。8:30~17:00まで。患者数が多く予約制。採血室は、化学療法や治験などを受けている患者用と一般用の2室がある。現在はトイレも狭いが、秋頃には広くなり増床する予定である。トイレトペーパーにミシン目なし。

4. 抗がん剤の管理等

(光川康子・がん薬物療法薬剤師主査)

安全キャビネット5台を使って無菌調製を行う為、調製環境に注意している。従事者の抗がん剤による曝露防止にも気をつけている。当日の抗がん剤注射治療の可否が記載された当日実施確認(ペーパー)に基づき、医師のOKサインが出てからミキシングを開始。10時半からがピーク時間となっている。薬剤の特性や医療材料使用などの違いにより、1件につきおよそ20分~60分後には調製された薬剤を提供している現状となっている。秋の院内改装後は、抗がん剤のミキシング室が外来化学療法センターに併設予定である。化学療法センターとの情報共有をより充実させていきたい。

5. 放射線治療施設と治療内容

(細野雅子・放射線治療科准教授)

一日70名~100名の患者を2台の機械で治療。2005年の数字ではあるが、放射線治療の世界平均は50数パーセントだが、日本は30パーセントにとどかず低い。日本は手術の技術が優れていることも一因と思われるが、近年は、急速に世界平均に近づいている。強度変調放射線治療では、照射量などの検証に一例につき最低で5時間を有する。そのために夜も機械を稼働させている。

アフターケアはキャンサーボード内で行う。皮膚ケアはほとんどの場合、放射線科で対応できている。

6. 救命救急センターの実績数

市大病院救命救急センターへ患者の搬送数は2010年4月~2011年3月まで842件。ひと月約70件前後。傷病者の受け入れ困難が大きな社会問題となっている中、医の原点である救急医療、その救急患者に24時間体制で高度な救命医療の提供を行い、大阪府における三次救急医療施設として、病院外心停止や重症外傷など重篤な救急患者の診

療の一翼を担い、社会に大きく貢献している。また、平成 23 年 3 月 11 日の震災では、大阪 DMAT として医療支援活動が行われた。

おわりに：

大阪のほぼ中心に位置し、ホテルのような雰囲気でも快適に受診できるように開院された大阪市立大学医学部附属病院を見学させていただきました。化学療法センターの入口やその中の病床は、現在は狭小のため近々改善される予定だそうです。

大変お忙しい中、担当してくださいました先生方の温かい対応に感謝申し上げます。ありがとうございました。